

保護者の方々へ

7月の熊本豪雨災害
に対して、保護者の皆様
からの物資の提供およ
び義援金の御協力等、
暖かいお心遣いに感謝
しています。本当にあり
がとうございました！

皆様からお預かりした
物資及び義援金は高等
部の生徒で分担して、
物資の管理や輸送準
備、義援金の集計作業
を行っているところです。

支援物資・義援金を届ける準備をしています



上の写真は、届いた支援物資は生徒が保管場所に運び、整理して保管している様子です。きれいに収まるように物資の種類や大きさを考えながら段ボール箱に入れていきます。

下の写真は、義援金に対する取組です。給食の牛乳パックを採用し募金箱を生徒が作りました。各学級に置かせていただき、集まった義援金を計算している様子です。集計作業は、間違えないように何度も確認したいと思います。

こすもす祭終了後に、義援金の振込や物資の発送を計画しています。本取組のまとめとして、保護者の方々へは再度、文書等で報告させていただく予定です。



◆ 熊本の被災地は、今でも苦しい生活を強いられています…

甚大な被害を受けた隣県熊本の様子です。予想もできない大きな被害を受け、目を疑うような状況です。これは、直後の写真ではなく、現在の写真です。今だにガレキや土砂が残っている場所もあるようです。

災害の復興には時間がかかります。心が癒されるのにはもっとも時間が必要です。「明日は我が身」、被災者の方がたの気持ちに寄り添いながら、災害・防災への意識を高めていきたいものです。



◆ 防災の最大の敵は「風化」していくことです…

いつ、どこで起こるか分からない自然災害。災害から身を守るために必要なことは、常に意識することが大切だと言われています。どんな場所でもどんな状況でも「ここで水害が…ここで地震が起きたら…」と日頃からイメージすることが大切だそうです。



災害直後は、みんな危機感を持ち行動しますが、時間が経つにつれてどんどん意識が薄れていきます。防災の最大の敵は、この意識が薄れていくこと、災害の教訓がどんどん「風化」していくことです。目を疑うような災害の映像を目にしたときの危機感、恐怖感、絶望感…風化させることなく災害を意識して生活していきたいものです。

■ 取組へのご意見、要望等ありましたら御連絡ください。